



Low Cost-case 2

建1階
 構造規格/木造2階建て
 延床面積/109.51㎡(約33坪) [地下+ロフト30.78㎡(約9坪)含まず]
建築工事費(概算)
 <トータル>
 1,950万円(設計監理費用別途)
 <内訳>
 建築主体工事:1,310万円(造作家具含む、カーテン別途)
 電気・暖房設備工事:240万円(間取、冷暖房含む)
 機械設備工事:135万円(屋外給排水含む)
 外観工事:150万円

建築家データ
 札幌市西区・Tさん宅
 家族構成/夫婦30代
 <主なる外観仕上げ> 屋根/ガルバリウム鋼板フラットルーフ、外壁/ガルバリウム鋼板立平瓦、建具/生葉ドア、アルミ断熱ドア、窓・移築サッシ3Low-Eペアガラス
 <主なる内装仕上げ> 床/硬木地板、水性ワックス塗、壁・天井/石膏ボードの上UP断熱
 <断熱仕様 外周断熱> 基礎/FP断熱30mm、壁/ブローイング35kg100mm、屋根/ブローイング15kg300mm
 <暖房方式> 電気式床暖房+冷暖ヒーター
竣工期間
 平成27年1月〜4月(約3ヵ月)
竣工費用
 約1,950万円

設計/1階)スタジオ・シンパニカ 監修/青木
 TEL 011-215-6400
 http://www.sinfonica.co.jp
 施工/松山建設(株)
 011-784-8133



巧みな部材使いが光るシンプルCUBE

この住宅の設計では「部材を効率的に用い、使用する素材を減らす」とことと「将来の進化に対応するべくフレキシブルな空間とすること」が図られた。その解決策とされたのが、まず、外壁から始まる部材の選定と据えらるために、表面積をできるだけ小さくした「白い立方体」とすること。これにより、最小限の構造材で物理的な強度と安全を両立することができ、さらに、構造材としての集材材や床の構造用合板は、すべて換しているのだ。

これはコストを抑えるためだけでなく、仕上げとしても美しく、また、部材数を減らすという建築家の発想にとわれず、大に取手スペースを設け、可動収納で仕切ることにより、子どもの誕生など生活の進化にも対応、数時間で必要かどうか迷ったものは撤去するという発想は、むしろ住宅の機能性を高めている。加えて、一部には高級品の既製工業製品を採用し、低コストながらも美しく仕立てている。